

検定問題（上級編）

※選択肢に下線があるものが正当。

【NEWS】

（1）聖地（市役所）

昭和天皇御大典事業として建設され、1933（昭和8）年に竣工した「名古屋市役所本庁舎」。昭和初期の庁舎建築として高く評価され、隣接する愛知県庁本庁舎と共に2014年、国重要文化財に指定された。庁舎内は、全長約100mと非常に長い庁舎北側の廊下をはじめ、映画やドラマの撮影で使われていることでも有名。映画「SP 革命篇」（2011年）や「アルキメデスの大戦」（2019年）などヒット作も多く、平日の開庁日であれば廊下や階段等の共用部分は自由に見学も可能だ。そんな庁舎内の見どころの一つが、中央玄関の柱や階段手すりに使われている大理石。山口県産の小桜という良質の大理石だが、これはある国内の有名な建築物の余材が使われている。その建築物は何でしょうか。

ア 東京駅 イ 国会議事堂 ウ 国立西洋美術館 エ 迎賓館赤坂離宮

（2）東山給水塔

覚王山日泰寺の北側、遠くからも見える赤いとんがり屋根が印象的な建物。1930（昭和5）年3月に建設され、1973（昭和48）年までの約43年間、千種区覚王山一帯の高台に給水するための配水塔として利用。1979（昭和54）年からは、災害対策用の応急給水施設として、常時300 m³の水を塔の上部に蓄えている。円筒形の迫力ある独特の形態をもった建物は、名古屋市の景観重要建造物に指定。納屋橋や名古屋市公会堂など、景観法の制定に伴い、良好な景観を形成する上で重要な物件として令和2年までに指定されている17件のうちの1件だ。近年は「まるでおとぎ話の中に出てきそう」「フォトジェニックだ」と話題にもなっている、この建物の名前は何でしょうか。



ア 東山給水塔 イ 覚王山給水塔 ウ 千種給水塔 エ 名古屋市給水塔

【エリア・観光スポット】

（3）中部電力 MIRAI TOWER

1954（昭和29）年に日本初の集約電波塔として建てられ、国の登録有形文化財にも認定された名古屋テレビ塔。開業以来初となる全面改修工事を経て、2020年に塔内を一新。レストランやショップ、また観光タワーとしては世界初となるホテルもオープンしたほか、2021年には「中部電力 MIRAI TOWER」と名称も新たにしました。そんな旧名古屋テレビ塔を防災・都市景観を考慮のもと、設計したのは早稲田大学の教授でもあった内藤多伸工学博士。のち

に数々の鉄塔や有名建築物の設計を手がけ、「耐震構造の父」「塔博士」とも呼ばれた人物だ。その内藤博士が旧名古屋テレビ塔以外に設計したタワーを以下の中から3つ選んでください。

- ア 横浜マリントワー イ 東京タワー ウ さっぽろテレビ塔
エ ツインアーチ138 オ 東山スカイタワー カ 二代目通天閣

(4) Hisaya-odori Park

旧名古屋テレビ塔と共に誕生した久屋大通公園が、2020年9月に大リニューアルして「Hisaya-odori Park」に。リニア中央新幹線の開業を2027年(予定)に控え、新しい時代にふさわしい、魅力ある都市公園を創造するため、外堀通～錦通の約1kmにわたるエリアを再整備。4つのゾーンから成る園内には話題の店舗が立ち並び、グルメやショッピングを楽しめるほか、大型芝生広場のハンモックでのんびりしたり、緑に囲まれた小径で散歩したりすることもできる。中でも注目は、中部電力 MIRAI TOWER の前に全長約80mの水盤が続くシンボリックなエリア「ミズベヒロバ」。夕方から夜の時間帯に行われる、ある演出が写真映えすると話題になっている。その演出とはどのようなものでしょうか。

- ア 音楽とシンクロして噴水が沸き上がるショー演出
イ 色とりどりの花火が打ちあがる演出
ウ ミストと四季にあわせたカラーライトの演出
エ プロジェクションマッピングでメッセージを映し出す演出

(5) 万松寺

1540(天文9)年、織田信長の父・信秀により、織田家の菩提寺として開基した「万松寺」。当時は名古屋市中区錦と丸の内二、三丁目にまたがった所にあったが、1610(慶長15)年、名古屋城築城の際に現在の地に移転した。2017年春には、諸堂「白龍館」がリニューアルオープン。時間になると境内にある白龍とLEDモニターから「再生」をテーマとした音・水・光のダイナミックな映像演出が飛び出し、人々の目を楽しませている。また、信長のからくり人形も人気で、桶狭間の戦いに出陣する際に舞ったとされる「幸若舞(こうわかまい)」と、信秀の葬儀の際に起きた「抹香(まっこう)事件」を上演。喪主であった信長が起こし、のちに「うつけ者」といううわさが広まるきっかけとなった「抹香事件」とはどんな出来事でしょうか。

- ア 抹香を手づかみにして信秀の位牌に投げつけた
イ 参列者全員の頭を扇子ではたいて回った
ウ 葬儀が行われていた部屋にあった抹香入れを割った
エ 葬儀を中止するため抹香入れを隠した

(6) 四間道

堀川の西側に位置し、1610(慶長15)年の名古屋城築城と共に始まった清須越しにとともに形成された商人町「四間道(しけみち)」。戦災の被害が比較的少なかった四間道界隈に

は、城下町の商人地であったことを示す土蔵や伝統的な建造物が多く現存。そのうちのひとつである伊藤家住宅は、堀川筋商家の典型例を今に伝える貴重な建造物として県指定有形文化財にもなっている。2021年に名古屋市が取得し、一般公開に向け整備を進めていく予定である。そんな「四間道」は1700（元禄13）年の大火のあと、防火の目的と旧大船町商人の商業活動のために、とあることを行ったことからその名前がついたと言われている。それはどんなことでしょうか。



- ア 建物の高さを四間(約7m)に統一した イ 道幅を四間(約7m)に拡張した
ウ 隣家との間を四間(約7m)空けた エ 四間(約7m)ごとに井戸を設置した

(7) 名駅地下街

東京、大阪に次ぐ規模である名古屋市の「地下街」。名古屋で初めて「地下街」ができたのは、地下鉄東山線が開通した1957（昭和32）年3月。名古屋駅にできたその地下街は、開業当時の名称を「ナゴヤ地下街」といい、61店からスタートだった。その後、地下街は徐々に増設していたが、昭和40～50年代には自家用車の急激な増加による地下駐車場の建設に伴って大幅に拡大し、網目のように張り巡らされた名古屋の地下文化が発展していった。では、主要なビルに連結し、名古屋初の本格地下街である「ナゴヤ地下街」の、現在の名称は何というのでしょうか。

- ア ユニモール イ ファッションワン ウ サンロード エ エスカ

(8) 柳橋中央市場

“東海の台所、”と称される「柳橋中央市場」は、名古屋駅から徒歩10分ほどと、全国的にも珍しく都会の一等地に立地。国内外のブランド食材が集結し、プロの料理人だけでなく一般客も購入ができる。場内には飲食店も点在し、市場関係者が仕事終わりに足を運ぶ食堂から、観光客に人気の新鮮魚介が味わえる店までさまざま。また、試食付きの見学ツアーも好評だ。そんな「柳橋中央市場」の始まりは明治後期のことで、この地域に自然発生的に生まれた万物問屋をまとめた形で開設されたが、現在の店舗数はいくつでしょうか。

- ア 約30店舗 イ 約50店舗 ウ 約100店舗 エ 約130店舗

(9) 名古屋港水族館

1992（平成4）年開館、約500種50,000点もの海の生きものに出合える「名古屋港水族館」。その規模は日本最大級であり、華麗なジャンプなどイルカのパフォーマンスを繰り広げ、シャチなどの公開トレーニングを行う屋外プールは日本一の大きさを誇る。また、絶滅危惧種の、ある生きものの繁殖研究にも注力。水温を22～28℃に調整した巨大なドー

ナツ型の回遊水槽には人工砂浜を隣接させ、産卵された卵は翌日に掘り返し、繁殖研究施設の人工ふ化場へ埋め戻して管理している。では、その生きものとは何でしょうか。

ア ウミガメ イ ウミヘビ ウ ペンギン エ アメフラシ

(10) 名古屋港水族館

「名古屋港水族館」では、北館と南館でゾーンを分けている。「35億年はるかなる旅～ふたたび海へもどった動物たち」がテーマの北館では、バンドウイルカやベルーガなどを飼育展示。約3,000人収容のスタンドを設置した日本最大のメインプールで、生態や行動をより深く理解できるようにパフォーマンスも実施している。また、「南極への旅」をテーマとした南館では、南極観測船ふじが日本から南極へ至るコースに沿って5つの水域にすむ生きものをその自然環境とともに紹介。「赤道の海」「オーストラリアの水辺」「深海ギャラリー」のほか、「日本の海」も必見。日本周辺の海的环境を再現した「日本の海」ではある工夫をされた水槽（展示が休止の場合あり）があるが、その工夫とは何でしょうか。

- ア 潜水艦に入って間近で魚を観察できる水槽
イ ヘルメット型ののぞき窓で水槽の中をのぞくことができる
ウ 水槽の前に双眼鏡が設置されていて魚が大きく見える
エ 魚が通ると魚の名前が水槽に映し出される

(11) リニア・鉄道館

東海道新幹線を中心に、在来線や蒸気機関車、超電導リニアなど、実物車両の展示を行う「リニア・鉄道館」。時速500kmの世界を模擬体験できるミニシアターやシミュレータ体験のほか、東海道新幹線沿線の建物や風景を再現した日本最大級の鉄道ジオラマも人気が高い。また、館内では同館限定の駅弁やサンドイッチ、東海道新幹線車内で販売しているコーヒーやアイスクリームなどを販売。館内休憩スペースのほか、展示車両39両のうち唯一屋外に展示している、ある車両では車内で飲食が可能。その車両とは何でしょうか。

- ア N700系新幹線電車 イ 922形新幹線電気軌道総合試験車
ウ キハ82形式気動車 エ C62形式蒸気機関車

(12) レゴランド®・ジャパン・リゾート

レゴ®ブロックの世界観が楽しめ、2歳から乗れるアトラクションがいっぱいの「レゴランド®・ジャパン」。日本唯一のレゴ®ブロックのテーマパークであり、レゴ®ブロックで日本の街並みを再現した「ミニランド」や、ジェットコースターの「ザ・ドラゴン」など40以上のアトラクションやショーが楽しめる。2018年にはレゴ®ブロックの世界に宿泊できる「レゴランド®・ジャパン・ホテル」、驚きや発見がいっぱいの体験型水族館「シーライフ名古屋」、2019年7月には世界各国のレゴランド®でも人気の高い「レゴ®ニンジャゴー・ワールド」もオープンした。そんなパーク内にはオリジナルのグルメも盛りだくさん。では、遊び疲れた体をクールダウンさせるのにぴったりな2X4ブリックアイスとはど

んなメニューでしょうか。

- ア レゴ®ブロック型の氷が浮かんだジュース
- イ レゴ®ブロックの形をしたもなかアイス
- ウ レゴ®ブロック型のアイスクリームがのったパフェ
- エ レゴ®ブロックの器に入ったかき氷

(13) 東山動植物園

約 60 万㎡の敷地に動物園と植物園、遊園地があり、さらに東山タワーも隣接する「東山動植物園」。動物園には、1984（昭和 59）年の初来日から変わらない人気のコアラや、「イケメンすぎる」と話題になったニシゴリラのシャバーニをはじめ、多種多様な動物が暮らし、その数は約 450 種と日本一の飼育種類を誇る。また、自然の地形をそのまま生かした形で、約 7,000 種もの植物が展示する植物園も見もの。2021 年 4 月には 7 年にも及ぶ保存修理を終え、1937（昭和 12）年の開園当時の姿に戻った温室前館が一般公開された。重要文化財にも登録され、「東洋一の水晶宮」と呼ばれた美しいたたずまいを見せる、その温室の最大の特徴とは何でしょうか。



- ア 日本一広い面積を持つ公共温室
- イ 現存する日本最古の公共温室
- ウ 日本一多くの植物を展示する公共温室
- エ 現存する公共温室で天井が一番高い

(14) 東山動植物園

1937（昭和 12）年の開園以来、市民の憩いの場として親しまれてきた「東山動植物園」。小さい子どもでも安心の遊園地や、約 7,000 種もの植物を展示する植物園、地上 100m にある展望台から市内の名所を一望できる東山スカイタワーと、多彩に楽しむことができる。動物園では約 450 種を飼育しておりその数は日本一。イケメンゴリラの愛称で親しまれているニシゴリラのシャバーニをはじめ、コアラやゾウ、チンパンジーなどが迎えてくれる。そのなかで、1984（昭和 59）年の初来日から変わらない人気を誇っているのがコアラだ。当時、日本で初めてコアラを展示することになった「東山動植物園」は、地元出身の有名漫画家にシンボルマークを依頼。それは現在もコアラ舎の外壁で見ることができる。その漫画家とは誰でしょうか。



ア 江川達也 イ さくらももこ ウ 鳥山明 エ やなせたかし

(15) 揚輝荘

松坂屋の初代社長 15 代 伊藤次郎左衛門祐民によって、大正から昭和初期にかけて建造された別邸「揚輝荘（ようきそう）」。

起伏に富んだ広大な敷地に、池泉をめぐらすなど地形や周囲の自然を生かして造られた。最盛期には、建築的・歴史的価値の高い建物が 30 数棟にも及んだ。仏教に信仰が篤かった祐民はインドなどへ仏跡巡拝旅行をしており、その時に受けた感銘を再現したと言われる聴松閣（ちょうしょうかく）は一般にも公開。地上 3 階の各室は各国の様式がミックスされているのが特徴的で、舞踏会などが開かれた地階全体がインド様式に。レリーフや彫刻など数々のオリエンタルな意匠や、アジャンタ石窟の模写と言われる壁画は必見だ。では、この聴松閣は次の写真のうちどれでしょうか。



ア



イ



ウ



エ

(16) 有松・鳴海絞

1608（慶長 13）年、旧東海道の池鯉鮒宿と鳴海宿の間の茶屋集落として開村した有松。今も卯建（うだつ）を設けた和瓦の屋根、塗籠造（ぬりごめづくり）、虫籠窓（むしこまど）といった特徴を持つ伝統的建造物が町並みを形成。「岡家住宅」や「竹田家住宅」など江戸末期建造とされる建物も多く残る。そんな有松は国の伝統的工芸品に指定されている、「有松・鳴海絞」の産地としても有名。名古屋城の築城に来ていた九州の職人が身に着けていた豊後絞りをヒントに生まれた有松絞りを当時、旅人が故郷へのみやげにと競って買い求め、やがて街道一の名産になった。知多郡阿久比町から移住し、有松絞りの開祖ともいわれる人物は誰

でしょうか。

ア 竹田庄九郎 イ 加藤四郎左衛門景正 ウ 梶常吉 エ 鯉江方寿

(17) 名古屋市科学館

「みて・ふれて・たしかめて」をコンセプトに、さまざまな展示や体験を通じて、子どもから大人まで楽しみながら科学に触れることができる「名古屋市科学館」。一番の目玉は、ギネス記録に認定された内径 35mの世界最大級のプラネタリウムで、限りなく本物に近い星空が再現されている。ほかにも高さ 9mの空気の渦が上がる様子が見られる「竜巻ラボ」や、マイナス 30℃の世界が体験できる「極寒ラボ」、ダイナミックな電気エネルギーが実感できる「放電ラボ」など、見どころがいっぱい。また、1901 年から始まった世界的な賞における愛知・名古屋ゆかりの受賞者の業績や研究内容を伝える展示室も必見。次世代の科学技術を担う人材の育成も目指したこの展示室の名前は何か。



- ア あいち・なごやフィールズ賞受賞者記念室
イ あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室
ウ あいち・なごやラスカー賞受賞者記念室
エ あいち・なごやクラフォード賞受賞者記念室

(18) 市政資料館

名古屋市の公文書館として市の公文書や資料を保存・公開するほか、市民の文化活動の場として親しまれている「名古屋市市政資料館」。1922（大正 11）年に名古屋控訴院、地方裁判所、区裁判庁舎として建てられた。1979（昭和 54）年まで裁判所として使用されており、明治憲法下の法廷や留置場など、当時の様子が一部再現されている。また、日本国内における最後の大規模なレンガ造の建物であると言われており、現在は国の重要文化財に指定。ネオ・バロック様式の建物内は無料で見学することができ、2 階から 3 階までが吹き抜けとなった荘厳な中央階段室など見どころが満載。そんな館内では、ある変わった一般利用をすることができるが、それは何か。

- ア 宿泊ができる イ 留置場で食事ができる
ウ 貸切ができる エ 結婚式が挙げられる

(19) 白鳥庭園

敷地面積約 3.7 ヘクタールと東海地方最大級の規模を誇る日本庭園「白鳥庭園」。中部地方の地形をモチーフにし、築山を御嶽山、流れを木曾川、池を伊勢湾に見立て、源流から大海までの「水の物語」をテーマとした池泉回遊式日本庭園だ。滝や巨大な岩により創り出さ

れた源流風景、清流が織り成す溪流風景、溪谷をおおうカエデの紅葉など、深山幽谷の風情が漂う。また、一年を通じて花や紅葉、雪吊りといった、四季折々の風景が広がるのもここならではだ。さらに庭園のほぼ中央、流れのほとりに位置する「清羽亭」では、茶の湯を楽しむことも。白鳥舞い降りる姿をイメージしたというその建物は、ある代表的な日本建築で造られている。それは何でしょうか。



ア 書院造り イ 数寄屋造り ウ 寝殿造り エ 合掌造り

(20) 東谷山フルーツパーク

名古屋市の北東にあり、標高 198.3m と市内で一番高い山、東谷山。その麓に位置し、緑あふれる環境を生かした多目的農業公園「東谷山フルーツパーク」には、リンゴやナシ、モモなど 17 種類の果樹園があり、約 1,000 本もの果樹を栽培。4 月上旬にはシダレザクラなど約 1,000 本のサクラが咲き乱れる花見の名所であるほか、公園から東谷山山頂まで散策路が整備されているのでハイキングの起点としても利用されている。そんな園内でひときわ目を引くのが、バナナやパイヤなど約 100 品種の熱帯果樹・亜熱帯果樹が植えられた世界の熱帯果樹温室だ。この温室は東谷山周辺に多数存在する古墳群のひとつをモデルにデザインされているが、それは何でしょうか。

ア 帆立貝式古墳 イ 前方後円墳 ウ 方墳 エ 円墳

【名古屋城】

(21) 名古屋城

1612（慶長 17）年に天守が完成した「名古屋城」。初代以降 16 人の藩主が約 260 年にわたり、尾張徳川家の居城として守り続けてきたが、戦災によって主要な建造物が焼失。1959（昭和 34）年に大天守、小天守、正門が鉄骨鉄筋コンクリート造で再建された。当初の普請が開始されたのは 1610（慶長 15）年のこと。徳川家康の命のもと、加藤清正や池田輝政、福島正則ら豊臣恩顧の大名を中心に行われ、それぞれには丁場割りといって持ち場が決められていた。石垣に使われている石をよく見ると、さまざまな記号や文字が刻まれているのが今でもわかる。では、その刻印が付けられた理由とは何でしょうか。



- ア 各大名が苦勞して運んだ石を他の藩と区別することで、いさかいを避けるため
- イ 大きさや形を記すことで、効率よく石を積めるようにするため
- ウ より多くの石を運んだ者に褒美が出たので、その数を記録するため
- エ 災い除けの祈禱をした証として、石に印を刻んでいたため

(22) 本丸御殿

1615（慶長20）年に建てられた当初は、初代藩主・徳川義直の住まいであり、藩の政庁としても使われていたが、のちに將軍の御成御殿となった名古屋城「本丸御殿」。かつて国宝にも指定されていたが、1945年（昭和20）年の空襲により焼失。伝統工法を数多く採用し、約10年にわたる復元工事を経て2018年6月、400年前の姿を忠実に復元した形で蘇った。徳川家光が上洛する際に建造された上洛殿や、正式に藩主に謁見する際に用いられた表書院など、どこもかしこも豪華さを極めた造り。また、虎や豹、花鳥など、日本絵画史上最大の画派の絵師によって描かれた障壁画の復元模写も見どころだ。では、その画派とは何でしょうか。



- ア 住吉派
- イ 土佐派
- ウ 狩野派
- エ 琳派

(23) 金シャチ横丁

名古屋の食文化を発信する食のエンタメスポットとして2018年に名古屋城に隣接する場所に誕生した「金シャチ横丁」。名店や伝統ある老舗飲食店が並ぶ「義直ゾーン」と、創作性の高いグルメが味わえる「宗春ゾーン」から成る。また、スマホでアプリをダウンロードし、施設内の歴史絵巻イラストにかざすと尾張徳川家の歴史解説映像が見られるというスペシャルコンテンツも用意。さらに「義直ゾーン」を起点として名古屋城の外周をぐるりと回る人力車が運行しているほか、徳川義直、宗春と忍び衆などによるおもてなしの演武や練り歩きも好評だ。また、2020年8月には名古屋の安心・安全でおいしい水道水をより身近に感じられる、マイボトル対応冷水機の設置されたことでも話題に。では、その冷水機の名称は何でしょうか。



ア 金シャチウォーター イ 名城金鯪水 ウ おもてなしボトル エ 尾張徳川水

(24) 堀川

名古屋のほぼ中心部を南北に貫く人工河川「堀川」。江戸時代、米や塩、味噌などが船で運ばれ、名古屋が発展する源となった。しかし、水運が衰退し、名古屋の街が都市化するとともに水質悪化が進行。徐々に存在感が薄れていたが、最近ではイベント開催や遊覧船の運航などにより、堀川の魅力を再認識できるようになってきている。そんな堀川が開削されたのは1610（慶長15）年のことで、名古屋城の築城と時を同じくする。徳川家康に命じられ工事を担当したのは豊臣家に仕えた愛知県出身の武将だった。現在、納屋橋の中央バルコニー部分には、三英傑の家紋とともに、その武将の家紋がデザインされており、納屋橋近くには銅像も立っている。その武将とは誰でしょうか。

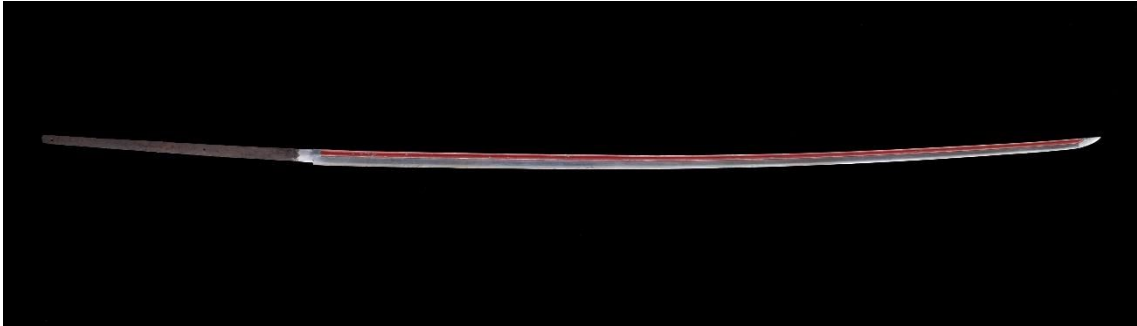


ア 寺沢広高 イ 福島正則 ウ 木下延俊 エ 池田輝政

【歴史】

(25) 熱田神宮

創建は113（景行天皇43）年、三種の神器の一つである草薙神剣を祀り、古くから崇敬を集める名社「熱田神宮」。年間700万人を超える参拝者が訪れる境内には、弘法大師が植えたという幹周り約7m、高さ約20mの大楠や、古神宝類、十二の舞楽面などを数多くの貴重な品を所蔵する宝物館がある。2021年には刀剣専門の展示館「剣の宝庫 草薙館」が開館。国宝・重要文化財指定20口、愛知県指定文化財12口をはじめ、所蔵する約450口の刀剣を毎月入れ替えて展示する。注目の一つが、姉川の合戦で朝倉方の真柄十郎左衛門直隆と十郎直基の父子が用いたとされる2口の常設展示だ。尋常ならぬ大きさで見ると圧倒する、通称「太郎太刀（たろうたち）」（下写真）「次郎太刀（じろうたち）」とも呼ばれる、その刀の名称は何でしょうか。



- ア 真柄大太刀（まがらおおたち） イ 国友（くにとも）
ウ 金銅兵庫鎖太刀（こんどうひょうごぐさりたち）
エ 備州長船兼光（びぜんおさふねかねみつ）

(26) 太閤秀吉功路

豊臣秀吉や加藤清正の生誕地として知られる、名古屋市中村区。区内には、武將にゆかりのある地名や史跡、歴史的・文化的な資源が点在し、「武將のふるさと」として親しまれている。そんな中村区では、名古屋駅から豊臣秀吉の生誕地（豊公誕生之地）の石碑が立つ中村公園までのルートを「太閤秀吉功路 人生大出世夢街道」と命名。ルートの道標として太閤秀吉モニュメントを設置し、コンセプトを「出世・挑戦・成功したい人を日本一応援するロード」とした。ルートは中村区のシンボルである大鳥居や中村公園、豊國神社などを巡るが、その付近には加藤清正にまつわるスポットもある。名古屋城築城の折に、清正が自身の誕生の地に再建したという寺院は何というのでしょうか。



- ア 妙行寺 イ 常泉寺 ウ 中村観音 エ 荒子観音寺

(27) 桶狭間

1560（永禄3）年に尾張国（現在の愛知県）を統一したばかりの織田信長と、駿河・遠江・三河を領国する今川義元との間で起こった桶狭間の戦い。27歳の信長が3,000人ばかりの兵を味方に、2万5000人も今川軍に戦いを挑み、見事大勝。この戦いにより天下取りへと躍進するきっかけをつかんだ。その歴史の重要な転換点となった場所は現在、「桶狭間古戦場公園」として整備。合戦当時の地形や城・砦をジオラマ化しているほか、「桶狭間古戦

場観光案内所」では、戦いに関するパネル展示や解説、史跡ガイドの取り次ぎなども行っている。また、周辺にはいくつもの戦に関連するスポットが点在するが、戦いのあと、信長が義元やその武将の首検証をしたと言われている場所はどこでしょうか。



ア セツ塚 イ 長福寺 ウ 桶狭間神明社 エ 釜ヶ谷

(28) 徳川園

新緑や紅葉、牡丹、花菖蒲など四季折々の美しさが堪能できる「徳川園」。1695(元禄8)年に造営された尾張藩二代藩主光友の隠居所を起源とし、尾張徳川家の邸宅となっていた約45万㎡の敷地の一部を日本庭園として整備改修して公開している。江戸時代の大名庭園に多く見られる様式である池泉回遊式の日本庭園で、高低差の大きな地形や既存の樹林をそのまま利用し、その中に武家社会の豪快さを象徴するような巨石を用いた岩組みを配置。園内に見どころはたくさんあるが、そのうちの 하나가江戸の尾張藩下屋敷にあったものを再現した龍門の瀧だ。鯉が滝を登りきって竜となったという登竜門伝説に基づいた滝で、下屋敷同様のある仕掛けがされている。それは何でしょうか。



ア 20分ごとに滝つぼから鯉が顔を出す イ 20分ごとにミストが出る
ウ 20分ごとに滝から流れる水が増す エ 20分ごとに滝の流れが止まる

(29) 文化のみち（榎木館）

名古屋城から徳川園にいたる一帯を指し、江戸期から明治、大正へと続く名古屋の近代化の歩みを伝える「文化のみち」。財界人、文化人の邸宅をはじめ貴重な建物が多く残されており、歴史遺産の保存・活用が進められているエリアだ。発明王と言われた兄・佐吉を支えた豊田佐助や、陶磁器を輸出する貿易商として成功した春田鉄次郎など、名古屋近代化の礎を築いた偉人たちの旧邸が多いのも「文化のみち」の特徴。ステンドグラスが贅沢に使われた洋館「文化のみち 榎木館（しゅもくかん）」もその一つで、大正末期から昭和初期に建てられた井元為三郎の邸宅だった。「文化のみち」エリアには、ある業界で活躍した為三郎の

提言で建設された建物があり、1 階展示室を見学することもできる。為三郎の銅像もある、その建物とは何でしょうか。

- ア 日本陶磁器センター イ 名古屋陶磁器会館
ウ 愛知県陶磁美術館 エ 文化のみち 二葉館

【アート&カルチャー】

(30) 和菓子

全国でも有数の「和菓子処」である名古屋だが、きっかけとなったのは尾張徳川家。代々の尾張藩主が茶道に熱心だったことから、その人気は武家や町民に広がり、さらには農民までも野良仕事の合間に一服を楽しむように。そんな抹茶人気とともに、お茶請けとなるまんじゅうの需要も高まり、次々と和菓子店が増えていったという。そのなかでも特に由緒あるのが、初代義直が名古屋城に入府する際に駿河より同道し、尾張藩主御用達を務めた菓子舗だ。残念ながら明治年間に廃業してしまったが、その味や伝統は今に受け継がれ、多くの老舗が名古屋で暖簾を守っている。では、その由緒ある菓子舗の名前は何でしょうか。

- ア 桔梗屋 イ 菖蒲屋 ウ 駿府屋 エ 葵屋

(31) 東山荘

桜の名所でもある山崎川のそばに立つ「東山荘」。茶道・花道をはじめとする伝統的芸能文化活動の場として広く利用されており、2013 年には国の登録有形文化財（建造物）に登録。3,600 坪ある広大な敷地にある主屋は雁行形に連なっており、和洋室並置、数寄屋風洋室など時代に先駆けた要素が随所に。また、空間構成から細部の意匠まで品よく行き届いた茶室や庭園も見ることができる。現在では名古屋の茶人に珍重されているこの山荘だが、もとは綿布問屋であった伊東信一の別荘として建てられ、伊東家の山荘という意味で「東山荘」と命名。信一の遺言を受け、1939（昭和 14）年より公園として一般公開を開始したが、戦争の影響により閉園。1968（昭和 43）年より再び開園するまでの間、山荘は別の活用法をされていたが、それは何でしょうか。



- ア 公民館 イ 美術館 ウ 旅館 エ 市長公舎

(32) 名古屋市美術館

日本の伝統的手法と色彩が随所に盛り込まれた、名古屋市ゆかりの建築家・黒川紀章が設計した建物も注目の「名古屋市美術館」。開館の目玉作品として、当時の日本の公立美術館では最高金額で、イタリアの画家アメデオ・モディリアーニの作品「おさげ髪の少女」を購入。その 1 年半後の 1988 年、世界に誇る本格的な美術館として開館した。8,105 点の収蔵作品

は多岐にわたるが、近代美術館として地域の美術文化活動の足跡がたどれるようにとの視点から「郷土の美術」、国際性のあるものを加えるということを考慮して「エコール・ド・パリ」「メキシコ・ルネサンス」「現代の美術」と、4つのカテゴリーに沿って収集をしている。そのうち「メキシコ・ルネサンス」は、メキシコで活躍したある郷土出身の画家との関連から収集が始まったが、それは誰でしょうか。

ア 前田青邨 イ 北川民次 ウ 荒川修作 エ 河原 温

(33) ヤマザキマザック美術館

18世紀から20世紀にかけての、フランス美術300年の流れがわかるコレクションを所蔵・展示する「ヤマザキマザック美術館」。4階の工芸作品展示フロアでは、アール・ヌーヴォーの時代をリードしたガレ、マジョレルなどのガラス作品・家具・工芸品を展示。5階の絵画展示フロアでは、18世紀のロココ芸術から20世紀の印象派、エコール・ド・パリまでの作家の作品がずらり。額装からはガラスが外され、作者と同じ目線で作品を鑑賞することができる。なかでも目玉は、ルイ15世の国王の首席画家でもあったフランソワ・ブーシェによる縦約2.4メートル、横約2.6メートルの大作だ。その作品名は何でしょうか。

ア 「恋文」 イ 「ポンパドゥール夫人」
ウ 「アウロラとケファロス」 エ 「ヴィーナスの化粧」

【祭り&イベント】

(34) 名古屋まつり

1955（昭和30）年に始まり、例年10月に開催される「名古屋まつり」。歴史と伝統に彩られた市指定文化財 山車揃や市文化財 神楽揃、華やかなフラワーカーなどが登場し、秋の街をまつり色に染め上げる名古屋最大の祭りだ。一番の見せ場となるのは豪華絢爛な郷土英傑行列。三英傑が鎧武者たちを従えて名古屋の街を練り歩き、戦国時代の武家文化にも触れることができる。各武将の隊はそれぞれ個性を表現しているのも特徴。天下統一に向け時代を先駆けた織田信長は勇ましく馬に乗って登場、将軍・徳川家康は毛槍やお犬様の乗った御殿駕籠、最愛の孫娘・千姫に続いて重臣とともに威風堂々と登場する。そして、名将たちを従えて登場する豊臣秀吉の隊では、ある国との関わりになんだ踊りも披露されるが、それは次のうちどれでしょうか。

ア 秀吉と出羽国（現在の山形県）との関わりになんだ花笠踊り
イ 秀吉と琉球王国（現在の沖縄県）との関わりになんだ琉球エイサー踊り
ウ 秀吉と阿波国（現在の徳島県）との関わりになんだ阿波踊り
エ 秀吉と土佐国（現在の高知県）との関わりになんだよさこい鳴子踊り

(35) 世界コスプレサミット

毎年夏に世界中のコスプレイヤーが集い、日本全土からもアニメやコスプレファンが訪れ

る「世界コスプレサミット」。コスプレ・アニメを日本一楽しみ、世界一あたたかなおもてなしをすることを目指している「コスプレホストタウン」の名古屋市で開催されている。39の国と地域から、予選を勝ち抜いた各国代表コスプレイヤーが名古屋に集結し、コスプレパフォーマンスの世界 NO.1 を決定する「ワールドコスプレチャンピオンシップ」やコスプレパレード、さまざまなステージイベントが行われ、聖地・名古屋がコスプレ一色に染まる。では、「オアシス21」にレッドカーペットが敷かれるなど、華やかに演出された2022年の「世界コスプレサミット」は開催何周年を迎えたでしょうか

ア 5周年 イ 10周年 ウ 15周年 エ 20周年

(36) アッセンブリッジ・ナゴヤ

音楽と現代美術のフェスティバルとして、名古屋の港まちを舞台に2016年よりスタートした「アッセンブリッジ・ナゴヤ」。音楽とアートが架け橋となり、まちと人が出会い、つながりが生まれ、新たな文化が育まれていくことを目指している。港エリアの公共空間や空き家を会場に、これまでの歴史や人びとの暮らしに向き合いながら、アーティストとともに展覧会やコンサート、イベントなど多様なプログラムを実施。2021年度からはフェスティバル形式から、「アーティスト・イン・レジデンス (Artist in Residence) =AIR」を中心とした、新たな取り組みへ移行した。そのAIRとはどんな取り組みでしょうか。

- ア アーティストが会場である港まちに滞在し、制作や活動を行う
イ 国内外のアーティストがオンラインでつながり、制作活動を随時発信
ウ 全国、そして世界の港まちと連携し、同時多発的にイベントを実施
エ ひとつの住宅を丸ごとアート作品として創作する活動

(37) 海の日名古屋みなと祭

毎年7月に開催される名古屋港の夏の風物詩「海の日名古屋みなと祭」。始まったのは1946（昭和21）年とその歴史は古く、戦争で一面の焼け野原となった名古屋市の復興を願ったことだった。祭り期間中は、総踊りやステージイベント、神楽隊、音楽隊による大パレードといったさまざまな催しを実施。フィナーレを飾るのは、最終日の海の日にガーデンふ頭一帯で実施される花火大会だ。スターマインやメロディー花火など、約3,000発を打ち上げ、音と光の競演が夏の夜空を華やかに演出する。もう一つの注目は、開港以来、木材を扱ってきた名古屋港に古くから伝えられ、名古屋市指定無形民俗文化財にもなっている独特な技術を競う大会だ。その筏（いかだ）にまつわる大会とは何でしょうか。

- ア 丸太を組み合わせて、筏をいかに早く作れるか競う「筏早造り大会」
イ 筏師が1本の丸太や木材の上で多彩な技を繰り広げる「筏師一本乗り大会」
ウ 2人1組で筏に乗って、複数組とこぐ速さを競い合う「名古屋港筏競争」
エ 小さな筏の上で相撲をとり、相手を水に落としたほうが勝つ「筏師筏上相撲大会」

【なごやめし】

(38) 小倉トースト

トーストとあんこを合わせた和洋折衷スイーツ「小倉トースト」。2枚のパンであんこをはさむサンド式のほか、トッピング式、セルフ式、さらには鉄板に盛るタイプなどさまざま。パンにはバターもしくはマーガリンが塗ってあり、その塩気があんこのまろやかな甘みをいっそう引き立てる。また、この「小倉トースト」をモチーフとしたクッキーやラスク、ケーキなどのみやげ用商品もバラエティ豊かだ。今ではご当地名物としてすっかり浸透しているが、その歴史は意外と古い。大正時代後期、栄にあった喫茶店の店主が、あることをヒントにして考案したという説がある。それはどんなことでしょうか。

- ア 小豆を煮ている最中に硬いパンを鍋に落としてしまい食べてみた
- イ トーストに羊羹をはさんで食べたらおいしかった
- ウ 学生がぜんざいにトーストを浸して食べているのを見た
- エ トーストに塗るジャムを切らしていたので試しにあんこを塗ってみた

(39) あんかけスパ

昭和30年代に、イタリアの家庭料理をヒントに考案された「あんかけスパ」。現在では名古屋市内に多くの専門店があるほか、喫茶店や洋食店でも人気メニューの一つに並ぶ。ソースは和食や中華の「あん」のようなとろみがあり、胡椒を効かせてピリ辛に。麺は直径2.2mmの極太が主流で、ゆでたあとにラードで炒めてコーティングする。ハウレン草とベーコンが乗ったポパイ、ハム主体のミラネーゼ、野菜中心のカントリーなど、トッピングでバリエーションを出すのも特徴で、具材によってユニークな名前が付けられている。では、ウインナーと魚介系のフライ、目玉焼きがのったメニューは何というのでしょうか。

- ア バイキング
- イ シーフード
- ウ パイレーツ
- エ ミラカン

(40) みやげ (ういろ)

米粉に砂糖を加えて蒸した棹物の和菓子「ういろ (ういろ)」。全国各地で作られているが、生産の約9割が東海地方で占められていることから名実ともに名古屋名物といえる存在。黒糖や抹茶、小豆、柚子を加えたものなど、色や風味に多彩なバリエーションがあり、もっちりしながらも歯切れがよいのが魅力。甘さ控えめの上品な味わいは日本茶とよく合う。多くの和菓子店で作られ、専門店も複数存在する「ういろ (ういろ)」は、最もポピュラーな名古屋みやげの一つで、駅や百貨店のみやげ売り場には必ず置いてあるほど。近年は食べ切りやすいひと口タイプや、フォトジェニックな商品も話題に。では、次のうち実際に「ういろ (ういろ)」の商品として存在しないものはどれでしょうか？

- ア まるでアイスバーのような見た目がかわいい、一口サイズの「ウイロバー」
- イ ピスタチオやマンゴーなど季節ごとのフレーバーがあり、紅茶やコーヒーに合わせて味わう「Willows」
- ウ 個包装されたういろとあんこを、最中に自分ではさんで完成させる「ういろモナカ」
- エ ブリオッシュ生地で生クリームとういろをはさみこんだ「ウイロツォ」

(41) 台湾ラーメン

台湾にはない名古屋で生まれたオリジナルの激辛麺「台湾ラーメン」。鶏ガラベースですっきりしたスープに、トウガラシ、ニンニクを加えて炒めた激辛ミンチをトッピングし、具はほかにニラ、モヤシが基本。昭和40年代ごろ、名古屋市内の台湾料理店「味仙」の創業者が従業員のまかないとして作ったのが始まり。もともとは台湾の担仔麺（タンツーメン）をアレンジしたものとか。やがて常連のリクエストに応じて、店でも出すようになり、定番メニューとなった。昭和50年代の激辛ブームに乗ってブレイクして広まり、市内の中華料理店、ラーメン店の約半数で採用されていると言われている。ところで、台湾では「●●●ラーメン」という名前で、台湾ラーメンのカップ麺が販売されていた。この●●●に入るものはどれでしょうか。

ア 名古屋 イ 日本一 ウ 富士山 エ 旨辛安

【スポーツ】

(42) 大相撲名古屋場所

毎年7月に開催される「大相撲名古屋場所」。正式には七月場所。名古屋場所が本場所となったのは1958（昭和33）年で、現在の「日本特殊陶業市民会館」が立つ場所にあった「名古屋市金山体育館」が会場だった。その後、1965（昭和40）年より、現在の「ドルフィンズアリーナ（愛知県体育館）」にて開催されるように。以降、名古屋の熱い夏を盛り上げる一大イベントとして、名古屋市内外はもちろん遠方からも多くの人を訪れる。そんな名古屋場所では優勝力士の栄誉を称えるため知事賞と市長賞を設けている。2022年の名古屋場所では幕内優勝力士に知事賞として知事杯のほか、副賞で名古屋コーチン肉の100キロ、卵1,000個及び花束（バラ、キクなどあいちの花合計200本）を贈呈したが、市長賞として送られた名古屋の特産品の副賞は何だったのでしょうか。

ア 名古屋節句人形 七段飾り イ 名古屋木桶 寿司桶・おひつセット
ウ 名古屋扇子 特大オリジナルデザイン扇子
エ 有松鳴海総絞り 浴衣地・兵児帯（へこおび）セット

(43) 名古屋グランパス

日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）に加盟するプロサッカークラブの「名古屋グランパス」。グランパスは英語で名古屋のシンボル「シャチ」を意味する。1939（昭和14）年に創部したトヨタ自動車工業サッカー部が母体で、Jリーグ発足時に加盟した「オリジナル10」の1チームである。名古屋市、豊田市、みよし市を中心とする愛知県全域をホームタウンとし、ホームスタジアムは「パロマ瑞穂スタジアム」と「豊田スタジアム」。エンブレムの最上部には王者を表す王冠、盾状のエンブレムにはチーム名の頭文字と「シャチ」をデザインしている。そんな「名古屋グランパス」は2022シーズンにチーム発足からメモリアルなシーズンを迎え、さまざまな記念事業に取り組んでいるが、クラブ何周年を迎えたのでしょうか。

ア 10周年 イ 20周年 ウ 30周年 エ 40周年

(44) 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ

Bリーグに所属するプロバスケットボールクラブ「名古屋ダイヤモンドドルフィンズ」。1950（昭和25）年、三菱電機名古屋製作所にて創部され、約70年という長い歴史を持つ。名古屋城に隣接する「ドルフィンズアリーナ」を本拠地にし、東京2020オリンピック競技大会に出場した日本代表選手を擁する。ロゴマークは「強いものはいつもシンプルで情熱的」というメッセージを持たせ、日本の中心に位置する名古屋の魅力を世界へ発信すべく、エンブレムを円の中に。ダイヤモンドとドルフィンズのDの文字などをデザイン。さらにイルカと共にある名古屋を象徴するものがあしらわれているが、それは何でしょうか。

ア 名古屋市の木「クスノキ」 イ 名古屋市の花「ユリ」
エ 名古屋市のシンボル「名古屋城」 エ 名古屋市の市章「八」

【ものづくり】

(45) 名古屋仏壇

自動車・工作機械をはじめ、ものづくり産業の一大集積地である愛知県は、国の指定を受けている伝統的工芸品の産地が全国で5番目に多い地域。なかでも名古屋は尾張藩の城下町として栄える過程で、高い技術を要する数多くの伝統工芸の産地が育ち、伝統産業になった。木地師、荘厳師、彫刻師、塗師、蒔絵師など、多くの職人たちの手によって作られる名古屋仏壇もその一つ。名古屋仏壇には各宗派にあったそれぞれの様式があるが、主な特徴としては、台の部分が高く「みつまくり」を備えていること、宮殿御坊造を代表とし、豪華な構造が特徴となっていることが挙げられる。台が高いのはある生活の知恵とされているが、それは次のうちどれでしょうか。



ア 掃除などお手入れをしやすいするため
イ 立ったままでもお参りができるようにするため
ウ 大きく、きらびやかに見せるため
エ 木曾三川の水害から仏壇を守るため

(46) 酒蔵

名古屋の酒造業が発展したのは江戸時代のこと。酒を好んだ尾張藩2代目藩主・徳川光友が、酒造りの先進地であった南都（奈良）より杜氏を招き指導させるなど、酒造りを奨励し

たのがきっかけだった。江戸時代から受け継がれてきた現在の酒造業だが、全国的に人気の高い銘柄もあるなど、名古屋の地酒のファンも多い。また、名古屋市内にある酒蔵5軒のうち4軒では、酒蔵開放や見学会などを実施しており、酒造りについて学ぶことができる。さて、現在名古屋市内にある酒蔵5軒のうち、3軒は緑区のあるエリアに位置しているが、それはどこでしょうか。



ア 鳴海 イ 有松 ウ 大高 エ 徳重

(47) ノリタケの森

近代化産業遺産群に認定された赤レンガ建築や6本煙突などが立ち並ぶ「ノリタケの森」。名古屋が世界に誇る陶磁器メーカー「ノリタケカンパニーリミテド」が、創立100周年の記念事業として本社敷地内にオープンさせた。都心にあるとは思えないほどの緑豊かな園内では散策ができるほか、ボーンチャイナの製造工程見学、絵付け体験、レストランでの食事やショッピングなどが楽しめる。また、1904(明治37)年の創立以来、工業製品として作られた食器を中心に展示するノリタケミュージアムは必見。明治中期から第二次世界大戦終結までの間に、森村組と日本陶器(現ノリタケカンパニーリミテド)が製造販売し、米国を中心として海外に輸出された陶磁器も展示している。芸術的な絵付けや繊細な細工などから特に収集家も多い、その陶磁器の総称を何というのでしょうか。



ア オリジンノリタケ イ ノーブルノリタケ
ウ プレシャスノリタケ エ オールドノリタケ

【その他】

(48) 宮の渡し

東海道五十三次のうち41番目の宿場であった宮宿。熱田湊、熱田宿とも呼ばれた宮宿は、東海道のなかでも最大級の規模を誇っていた。さらに、次の42番目の桑名宿への移動は海

路に行く必要があったため、船着場としても発展。次の宿場までの距離が当時の単位で七里(27.5km)だったことから、「七里の渡し」と呼ばれていた。船で渡ることがなくなった現代では、船着場として栄えた宮宿側の遺構に当時の様子を復元。「宮の渡し公園」として歴史香る憩いの場となっている。では、その「宮の渡し公園」に復元されていないものは何でしょうか。



ア 常夜燈 イ 茶屋 ウ 時の鐘 エ 船着き場

(49) 名古屋ことば

天下統一を成し遂げた徳川家康は名古屋の地形の豊かさに注目。名古屋台地の一番北に名古屋城を作り、その南に碁盤割りの城下町を、城の大手門から南へまっすぐ伸びる道である本町通りを熱田まで作った。その中で、広小路通より北を「上」、南側である大須、橋あたりを「下」と呼んだ。「名古屋ことば」は、そんな地域や身分によって「上(かみ)の言葉」「下(しも)の言葉」「武家言葉」の大きく3つに分類され、それぞれ特徴があった。「武家言葉」はその名のとおり、武家やその家族が使っていた言葉で、「ござる」「ご無礼」などはどの階層でも使われ、現在名古屋で使われていることばにも生きている。さて、そんな「武家言葉」にまつわる説として、正しいものはどれでしょうか。

- ア 江戸の各藩邸では外交語として名古屋の「武家言葉」を重んじていた
イ 「上」や「下」の町で、「武家言葉」を学ぶ寺小屋があった
ウ 名古屋城内では「武家言葉」を使わないと罰せられた
エ 江戸幕府の役人登用試験には名古屋の「武家言葉」の項目があった

(50) メーグル

名古屋中心部の観光スポットを周遊するなごや観光ルートバス「メーグル」。名古屋駅を出発して、名古屋城や徳川園など人気のスポットに停車。地下鉄の乗り換えなどが不要なので、名古屋の公共交通機関に詳しくなくても目的地に簡単にアクセスできる。また、一日乗り放題の1DAYチケットを呈示すれば、観光施設の入館料が割引になるほか、人気飲食店でさまざまなサービスが受けられる。さらに2022年7月より、メーグル運行日に限り、この1DAYチケットで名古屋駅から栄・矢場町を経由し、大須エリアを巡回する都心ループバスC-●●●系統にも乗車できるようになった。さて、この●●●に入るのは何でしょうか。

ア 758 イ 888 ウ 154 エ 052